



「岬町地域公共交通会議」が開催されました

本年7月6日に第1回、11月2日に第2回の地域公共交通会議を開催しました。この会議では、4月からコミュニティバスの実証運行を行っており、この実証期間中の9月末までのバス利用者の状況及び住民、利用者アンケート結果の報告、実証運行内容の見直しなどについて協議しました。

本号では、この2回の地域公共交通会議で協議された内容について報告します。

コミュニティバスの利用状況

実証運行の開始から9月末までのバス利用者数は、次の表のとおり減少化傾向となっています。この6箇月間のバス利用者数を前年度同時期と比較すると、基本路線では8.4%、乗継支線では44.6%、全体では11.0%の減少となっています。

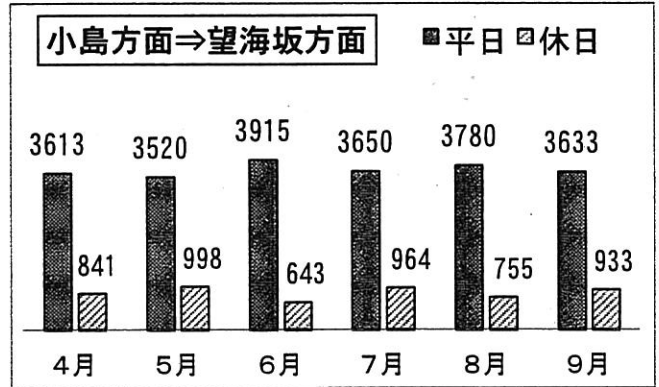
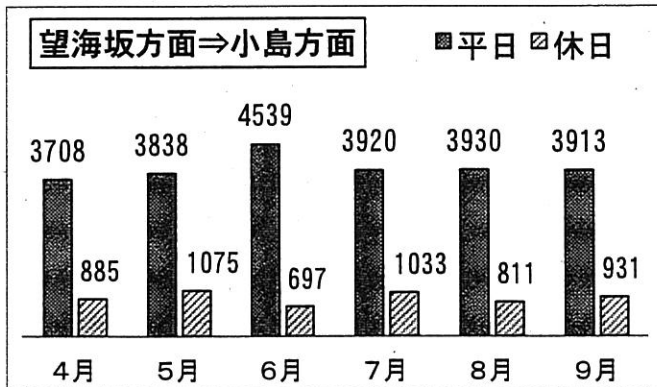
しかし、基本路線バス利用者のうち、幼児及び同保護者並びに障がい者の方々の無料乗車の割合は14.1%を占め、住民生活を支えるため移動手段の確保を必要とする方々の利用は着実に増えており、バス運行がその役割の一部を担っています。

バス運行事業は、町(行政)だけで進めて行くことでは決して良くなりません。住民の皆さんと町が協働して創り上げることで、その価値は高まります。引き続き、ご協力(積極的なご利用)をよろしくお願いします。

基本路線の月別・行先別・平日・休日の乗車人数の状況

(単位：人)

(単位：人)



実証運行期間中の乗車状況について(4月から9月まで)

(単位：人)

月	基本路線	乗 継 支 線					乗継支線 合計	基本路線 乗継支線 合計
		淡輪駅 ルート	みさき公園 駅ルート	孝子ルート	東畑ルート	西畑ルート		
4月	9,047	136	107	68	9	19	339	9,386
5月	9,431	153	114	96	8	21	392	9,823
6月	9,794	156	135	92	22	23	428	10,222
7月	9,567	176	191	86	18	26	497	10,064
8月	9,276	228	160	83	11	18	500	9,776
9月	9,410	179	179	78	16	25	477	9,887
合計	56,525	1,028	886	503	84	132	2,633	59,158

平成27年度同時期との乗車数比較 (単位：人)

	28年度	27年度	増減	増減率
基本路線	56,525	61,687	△ 5,162	△8.4%
乗継支線	2,633	4,754	△ 2,121	△44.6%
合計	59,158	66,441	△ 7,283	△11.0%

(1) 公共交通に関する住民アンケート調査

①調査概要及び回収結果

- ・本年8月、本町の全世帯（6,454世帯）を対象に1世帯2枚の調査票を配布し、郵送による回収を行った。回収数は1,143世帯（1,647枚）で、回収率は世帯ベースで17.8%でありました。

②回答者の主な属性

- ・性別では男性38%、女性62%、居住地区では淡輪46%、深日22%、多奈川18%、望海坂11%、孝子3%、また、年齢では70歳以上41%、60歳～69歳29%、50歳～59歳11%となっています。

③公共交通の利用状況について

- ・質問1「普段よく利用する交通手段」では、自家用自動車（家族が運転する場合も含む）が最も多く、次に南海電鉄、コミュニティバスの順となっています。
- ・質問2「通勤・買物等の外出の頻度」では、ほぼ毎日が46%、週に3～4日が29%、週に1～2日が18%となっています。
- ・質問3「外出・帰宅する時間帯」では、外出時間では午前9時から10時頃までが多くなっています。一方帰宅時間では午後2時から6時頃まで多くなっています。
- ・質問4「バスを利用して外出する時の目的」では、買物が最も多く、次に病院への通院、町役場への外出となっています。
- ・質問5「コミュニティバスの利用頻度」では、ほとんど利用しないが52%、月に数日が24%、週に1～2日が12%の順となっています。

④コミュニティバス利用者に係る回答結果について

- ・質問6「4月以降、コミュニティバスを利用しての外出機会の増加」では、どちらでもないが47%、減少した16%、やや増加した及び増加したが、それぞれ14%となっています。
- ・質問7「バスの主な乗車区間」では、乗車するバス停においては谷川が最も多く、次にみさき公園駅、望海坂1丁目、淡輪駅の順となっています。また、降車するバス停においてはみさき公園駅が最も多く、次に岬町役場、淡輪駅、ピアッツァ5、多奈川駅の順となっています。
- ・質問8「コミュニティバス運行に対する満足度」については、次の表のとおりとなっています。

質問内容	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
1) 乗りたい時間に運行されている	6.1%	18.4%	13.9%	34.1%	27.5%
2) 行きたいところに行ける	24.8%	29.6%	17.2%	16.2%	12.2%
3) 自宅からバス停までの距離は適当である	43.8%	20.2%	18.6%	11.9%	5.5%
4) バス運賃負担額は適切である	67.3%	16.6%	13.1%	1.1%	1.9%
5) 運転士のマナーについて	50.1%	25.6%	17.3%	4.7%	2.3%

⑤コミュニティバス運行内容の見直し及び町負担のあり方について

- ・質問9「今後、コミュニティバスの運行内容を見直しする場合に重要となること」については、次の表のとおりとなっています。（該当するもの3つに○）

回答内容	回答件数	回答数の構成比率
鉄道（南海電鉄）とバスとの接続を改善する	809	20.9%
バスの運行本数を増やす	699	18.1%
バス路線の行先や乗継を分りやすく表示する	359	9.3%
病院やスーパーの近くにバス停留所を設置する	312	8.1%
屋根の設置やベンチの整備などバス停留所の整備を行う	302	7.8%
バスの最終時間（平日20:35 休日19:05）を遅くする	269	6.9%
基本路線と乗継支線との乗継を改善する	269	6.9%
休日（土日及び祝日）の運行本数を増やす	228	5.9%
バス運賃の負担のあり方（運賃額・割引制度等）を検討する	228	5.9%
バスの始発時間（平日6:15 休日8:15）を早くする	149	3.8%
その他	249	6.4%

- ・質問10「来年度以降のコミュニティバス運行に要する経費に対する町負担のあり方」については、次の表のとおりとなっています。

回 答 内 容	回答数の 構成比率
町の負担額を現状と同程度とし、その範囲内で最大限のサービス水準を維持する	44.5%
町の負担額を軽減し、利用者の少ない路線は廃止・減便するなど、サービス水準を引き下げるべきである	19.8%
よくわからない	16.3%
町の負担額を増額し、新たな路線や運行ダイヤ・便数などのサービス水準を向上させるべきである	10.4%
その他	9.0%

(2) コミュニティバス利用者意識調査

①調査概要及び回収結果

- ・本年7月20日、コミュニティバス（基本路線及び乗継支線）に乗車された利用者を対象に一人1枚の調査票を配布（199枚）し、郵送による回収を行った。回収数は108枚で、回収率は54.3%でありました。

②回答者の主な属性

- ・問1「回答者の属性」では、性別では男性40%、女性60%、居住区域では淡輪33%、多奈川24%、望海坂14%、深日12%、孝子10%、町外7%、また、年齢では70歳代以上43%、60歳代15%、50歳代15%、40歳代が14%となっています。

③コミュニティバス利用者の利用目的及び利用頻度等について

- ・問2「バスの利用目的及び利用頻度」では、買物が36%と最も多く、次に通勤24%、通院13%、通学4%の順となっています。また、バス利用頻度では、週に5回が最も多く、次に週に3回、週に4回の順となっています。
- ・問3「バスの利用区間」では、乗車するバス停においてはみさき公園駅が最も多く、次に谷川、望海坂1丁目、小島住吉の順となっています。また、降車するバス停においてはみさき公園駅が最も多く、次にオークワ前、ピアッツァ5、与田病院前、淡輪駅の順となっています。

④バス運行に対する満足度について

- ・問4「バス運行に対する満足度」については、次の表のとおりとなっています。

質 問 事 項	満 足	やや満足	どちらでも もない	やや不満	不 満
バス運行ダイヤについて	21.3%	17.5%	6.8%	19.4%	35.0%
バス路線（基本・乗継）について	28.1%	14.6%	17.7%	15.6%	24.0%
バス運賃の負担額について	67.7%	10.4%	14.6%	3.1%	4.2%
運転士のマナーについて	62.3%	20.4%	7.1%	6.1%	4.1%

⑤バス運行の問題点や改善点について

- ・問5「バス運行の問題点及び改善点」については、次の表のとおりとなっています。
(該当するもの3つに○)

回 答 内 容	回答者数	回答者数の 構成比率
便数を増やして	68	30.1%
鉄道・バスの乗継を改善	49	21.7%
○時～○時の時間帯を走って	48	21.2%
バス停に屋根とベンチを	25	11.1%
バリアフリー対応車両の導入	13	5.7%
よく遅れるので改善を	9	4.0%
バス停の改善を	6	2.7%
路線を新設・充実して	5	2.2%
バス運賃を値下げして	3	1.3%

コミュニティバス実証運行内容の見直し

バス実証運行の実績、住民・利用者アンケート調査の結果及びバス事業の中間評価等を踏まえ、現行のバス便数、運行ダイヤなどを見直し改善を図りながら、実証運行を継続し、更なるバス運行サービスの充実、住民満足度の向上を図ることとします。

下記の見直し項目のうち、地域公共交通会議において審議を必要とする項目について協議を行ない、協議が整った項目について近畿運輸局への申請など手続きを進めます。

コミュニティバス実証運行の見直し内容

	見直し内容	現行の内容	協議結果及び実施時期等
基本路線	○平日最終運行時間を延長 多奈川方面行き最終便に21時台を追加し、一定の期間について実証運行する。	平日最終便の時間延長要望が多い（みさき公園発谷川行き20時35分発、この便の平均利用者は2～3人程度）。	バス利用ニーズを把握するため、平成28年12月1日から12月29日までの期間に限り試験的に運行する。
	○支線への乗継を改善 支線（みさき公園駅・淡輪駅ルート）への乗継を改善する。	支線乗継の待ち時間が、みさき公園駅・淡輪駅ルートにおいて特に長い状況にある。	基本路線から支線への乗り継ぎを改善するため、支線ダイヤの改正を、平成28年11月7日から実施する。
	○バス車両広告収入を確保 基本路線を運行する車両の外面に広告を貼り付ける。	運賃外収入を確保するため、広告収入制度を検討中。	運賃外収入により、収支率の改善を図る。
乗継支線	○基本路線への乗継を改善 支線ダイヤ（みさき公園・淡輪駅ルート）を見直し、乗継に要する待ち時間を短縮する。	基本路線への乗継に要する待ち時間が、みさき公園・淡輪駅ルートにおいて特に長い状況にある。	支線から基本路線への乗り継ぎを改善するため、支線ダイヤの改正を、平成28年11月7日から実施する。
	○有償運行制度の移行 基本路線と重複するバスルートやバス停留所の制約が解消できる。また、有償運行に必要な運転士及び運行管理者等の資格要件を満たす状況にある。	基本路線と重複するバスルートやバス停留所に制約がある。また、運転手等の資格要件を満たす講習を修了する。	平成29年4月1日からの移行に向け、大阪運輸支局への変更申請手続きを準備する。
	○バス停留所の新設等 基本路線→淡輪11区地域に新設を予定する。 ○乗継支線→バス停留所（里海公園西口）に停車を予定する。	国道管理事務所との事前協議を継続中。 基本路線と競合するため、停車していない。	バス停の新設 平成29年4月1日運用開始予定に向け協議を進める。 里海公園西口への停車に向け、準備を進める。
その他	○バス行先表示を分かりやすく改善	行先表示が分からないとの意見が寄せられている。	改善に向けた準備を進め実施する。
	○バス車体を分かりやすい塗装色に改善	車体が白色では、以前の赤バスのように認識できない状況にある。	改善に向けた準備を進め実施する。
	○バス利用者の増加 ○バス認知度の向上 ○バス運行への関心度の向上 ○イベント開催時の参加者バス利用促進	バスの乗車状況の周知など、バス運行事業についての情報が十分発信できていない状況にある。	交通会議ニュースの発行やホームページの更新などを利用した情報発信方法を改善し実施する。

あなたのところに 献血車がきます。

この機会に職場のお仲間・
ご近所お誘い合わせて
献血にご協力お願いします。



あなたも…
献血にご協力
お願いします。



チッチ

●献血で健康管理の一助に

献血された血液は患者さんに安心して輸血を受けていただくために……

梅毒検査・B型肝炎ウイルス関連検査・HCV抗体検査などを行います。

さらに……献血にご協力いただき、検査通知をご希望された方には血清トランスアミナーゼ・コレステロール量・総蛋白などの生化学検査に加え血球計数検査をし、その結果をご通知して献血者の健康管理にお役立ていただけます。

●献血できる方

以下の条件を満たし、医師が健康と認めた方 ※65歳以上の献血については、60歳から64歳までの間に献血経験の有る方に限ります。

	400mL献血	200mL献血
年齢	男性 17歳～69歳※ 女性 18歳～69歳※	16歳～69歳※
体重	男女とも50kg以上	男性45kg・女性40kg以上
年間総献血量	200mL・400mL合わせて男性1,200mL、女性800mL以内	
間隔	前回400mL献血の場合	前回200mL献血の場合
	男性12週間後 女性16週間後 } の同じ曜日から	男女とも4週間後の同じ曜日から

■献血していただいた血液は、安全な輸血が行われるようHIV抗体検査をしていますが、これは血液を必要とする方をHIV感染から守るための検査であることをご了承ください。

■HIV(エイズウイルス)感染に不安のある方は、絶対に献血しないでください。

12月は大阪府献血推進月間です!

日時：平成28年12月18日(日)

10:00～12:00 13:00～16:00

場所：ピノショッピング・オークワ岬店 駐車場

400ml を推奨しています。献血ご協力の皆様に岬ライオンズクラブより
お礼として粗品を進呈します。

岬ライオンズクラブは取り組んでいます

・ダメ・ゼッタイ覚せい剤撲滅 ・アイバンク登録受付中

主催：岬町献血推進協議会 協力：岬ライオンズクラブ

お問い合わせ：岬町立保健センター 492-2424

～今、医療現場では、400mL献血での血液需要が高まっています～

400mL献血にご協力を!

※献血カード(献血手帳)をお持ちの方はご持参ください。

住民のみなさまへ

岬町長 田代 堯

避難行動要支援者登録制度のお知らせ

【避難行動要支援者登録制度の概要】

岬町では、災害が発生した場合や発生するおそれがある場合に自力で避難することが困難で、迅速な避難を確保するため特に支援を要する高齢者や障がい者の方々を「避難行動要支援者」として事前に把握し、避難行動要支援者名簿を作成するとともに、災害時の情報伝達・避難誘導の支援・安否確認などが円滑に実施できるよう、避難行動要支援者登録制度を策定しました。

災害時に対応するには、普段からの災害時の心構えや準備とともに、日常からの地域のつながりが大切です。そのため、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方からの登録申請を町で受け、登録いただいた情報を町関係部署や避難支援等関係者などと相互に情報共有することにより、日常から地域の見守り・声かけ活動や災害時の支援体制づくりを行う登録制度です。

1 対象となる人は

災害時に他者の支援がなければ避難できない在宅の人で、ひとり暮らしなどの理由で家族などによる必要な支援を受けることが困難な方が対象です。

- ① 介護保険における要介護度3以上の認定者
- ② 身体障害者手帳1級・2級を所持する者（児）
- ③ 療育手帳Aを所持する者（児）
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持している者（児）
- ⑤ 満70歳以上の一人暮らしの者
- ⑥ 満70歳以上の高齢者のみの世帯に属する者
- ⑦ 生命維持に必要な医療的ケアが必要な者（児）※人工透析を受けている者など
- ⑧ ①～⑦以外で支援を要する者（児）

➤次の場合は掲載の対象者とならないため、ご注意ください。

- ア 福祉施設等への長期入所されている方や長期入院されている方
（一時的に入所、入院されている方は対象者となります。）
- イ ⑧に該当する方で、同居の家族等の支援が受けられる方
（災害時の対応に不安がある場合は対象者となります。）

2 名簿の内容は

町で管理している、住民基本台帳を基に対象となる方の下記の情報を記載します。

①氏名 ②生年月日 ③性別 ④住所 ⑤電話番号又は緊急連絡先

3 名簿の提供先は

名簿を提供する避難支援等関係者は次のとおりです。

- ①泉南警察署 ②岬消防署 ③岬町消防団 ④岬町民生委員児童委員協議会
- ⑤岬町社会福祉協議会 ⑥岬町地区福祉委員会
- ⑦避難行動要支援者が居住する自治区
- ⑧避難行動要支援者が居住する自主防災組織 ⑨町の関係部署

★名簿は、秘密の厳守、目的以外利用の禁止などが堅持される団体のみに提供し、各団体に一律に提供するものではありません。

4 個人情報の取扱いについて

名簿情報の提供を受けた避難支援等関係者には法律に基づく守秘義務があります。個人情報は、町及び避難支援等関係者において適正に管理し、避難支援に関わる目的以外には使用しません。

5 名簿記載事項の変更について

名簿の外部提供同意の意思については、変更の申出がない限り自動継続としますが、意思の変更や名簿記載事項に変更が生じた場合は手続きが必要ですので、必ず下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

※ この名簿は、対象となるご本人の同意により、平常時から避難支援等関係者に情報提供します。また、同意が得られなかった方についても、災害発生時に生命又は身体を保護するために町が必要と判断した場合には、情報提供することがあります。

6 注意事項

避難行動要支援者は、避難支援等関係者への情報提供に同意することにより、災害発生時における避難行動の際の支援を受ける可能性が高まりますが、避難支援等関係者自身や家族などの安全が前提のため、同意によって、災害時の避難行動の支援が必ずなされることを保証するものではなく、避難支援等関係者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

常に災害への備えを忘れず、「自分の身は自分で守る」という意識を持つとともに、日頃から積極的に周囲の方々との良い関係を作るよう心がけてください。

お問い合わせ先

- 危機管理担当 電話072-(492)-2759
- 高齢福祉課 電話072-(492)-2716
- 地域福祉課 電話072-(492)-2700

なお、対象となる方には、福祉部局より「登録制度のお知らせ」を郵送します。

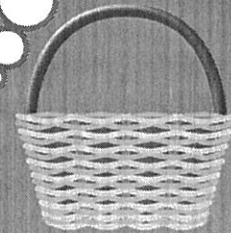
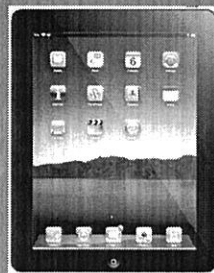
認知症予防・身体活性化教室

手を使って楽しく脳活

場所：与田病院1階ロビー
時間：14:00～15:30
対象：おおむね60歳以上の住民
定員：24名
参加費：無料
日程：全5回

ipadによる脳トレ
創作活動では籠づくりを♪

1月10日(火)
1月17日(火)
1月24日(火)
1月31日(火)
2月 7日(火)



ipad・創作活動は、脳の前頭前野部を刺激し認知症予防に効果があります。

電子機器はちょっと苦手(･･)、不器用だし(･･)の方でも
未経験でも全然大丈夫!(^^)♪

皆様、体験してみませんか？

★申込期間 12月1日(木)～12月21日(水)

▼申込・問い合わせ先

岬町高齢福祉課 担当：奥出・山道

☎492-2716・FAX492-5814

※この教室は岬町より与田病院に委託しています(開催協力 NTTドコモ)

大好評につき
パート2

ちょっと足腰が弱ってきたかな～？と感じたら

介護予防の第一歩

介護が必要にならないには『転ばない体をつくる！』ことが大切です。
【リハビリの専門家】が自宅でできるサーキットトレーニングを中心に
体操をおこないます。皆様の健康と元気を応援します。

場所： 岬町文化センター
時間： 14:00～15:45
対象： おおむね60歳以上の住民の方
定員： 30人
参加料： 無料
日程：

1月18日(水)	1月25日(水)
2月 8日(水)	2月15日(水)
2月22日(水)	3月 8日(水)
3月15日(水)	3月22日(水)

★申込期間

12月1日(木)～12月21日(水)迄

申込先・問い合わせ先

岬町高齢福祉課 (担当:山道・奥出)

☎492-2716

FAX492-5814

参加者 募集中

※この教室は、岬町より(社会福祉法人)親光会淡輪園へ委託しています

住民のみなさまへ

岬町長 田代 堯

出かけよう！ ミシンかふえ

岬町では、高齢者を対象にボタン付けや、簡単な衣類の繕いなどを行い、地域の高齢者の暮らしやボランティア活動を支援しています。

さらに、世代を超えて集える場として『ミシンかふえ』を開いています。



手づくりは苦手！ミシンはどうも？そんなことは気にしないで！

自由に気軽に裁縫が楽しめるスペースです！

ミシンの基本的な使い方から、作品が仕上がるまで『まほろばレディ』がていねいにサポートします！

縫い物でお困りの高齢者の方はもちろん、どなたでもお気軽にお越しください！！おしゃべりだけでも大歓迎です♪

場所・利用時間などは、こちらです。

尚、葬儀の時等は、休みになります。

※エアコン代や糸代として1回100円の参加費が必要です

淡輪老人福祉センター

【第2火曜日】

※1月はお休みです

12月 13日

2月 14日

3月 14日

午前10時～正午

さくら会館

【第2水曜日】

12月 14日

1月 11日

2月 8日

3月 8日

午前10時～午後3時



カフェ ののか（和室） 【奇数週木曜日】

※1月はお休みです

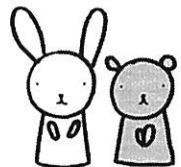
12月 1・15日

2月 2・16日

3月 2・16日

午前10時～正午

保育はできませんが、3才までのお子様は同伴可能です



問合せ

ミシンかふえ代表 まほろばレディ 末 原

携帯 090-2067-3555

保育が必要な方は、子育て支援センター(☎ 072-492-1350)でも、「ミシンを使った小物作り」を行っていますので問合せください。

「まほろばレディ」とは…

※高齢福祉課が平成22年度・23年度に開催した生活・介護支援サポーター養成講座の修了生の中から、自分たちができるボランティア活動をしたいと『まほろばレディ』が結成されました。
担当：しあわせ創造部 高齢福祉課